

おむすび通心

第5号

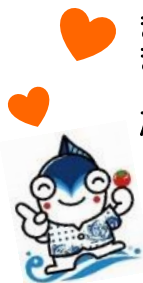
2022年 夏

皆さん、こんにちは！

私たち、焼津市の**認知症地域支援推進員**の通信も、早いもので初回発行から一年が経ちました。その間、焼津市に住んでいる皆さんに、「どれくらい私たちのことを知ってもらったのか？」「なんて思っているのか？」「知ってもらえたとしても」「どれくらいの方々と連携し、暮らしやすいまちづくりに貢献できたのかなあ？」「なんて思いながら、この「**おむすび通心**」を書いていきます。

今回は、私たちの連携先として、「**認知症疾患医療センター**」という非常に重要な医療機関があることを紹介します。

その内の一つである焼津市立総合病院認知症疾患医療センター長の酒井直樹医師にインタビューしてみました。



紹介します！！ 焼津市立総合病院 認知症疾患医療センター



～ 酒井直樹医師とセンター職員の皆さん～

- ① 認知症の鑑別診断をきちんと行う。
- ② 他の病気によって認知症状が起きているのかを判断する。
- ③ 地域の社会資源と連携し、誰もが暮らしやすい地域づくりに貢献する。

「酒井直樹医師に聞こう！」

「認知症疾患医療センターとは？」

「酒井医師から皆さんへメッセージ」

認知症と診断されたとしても、

決して悲観することなく、あなたはあなたらしくありのままに存在し続けて欲しいです。

また、ご家族は、決して一人で背負おうとしないで、是非、周囲の方々に理解と協力を求めてください。きっと、理解者や協力者がいるはずです。当センターや地域包括支援センター、その他にも専門の相談機関があります。困ったら「何でも頼っちゃおう。」くらいの気持ちでいいんです。地域の皆さんで支え合えたら、大きなトラブルも未然に防げるかもしれないし、認知症と共に生きている人だけでなく、誰もが暮らしやすい地域に一步でも近づけるんじゃないかと思っています。

日々の出会いに感謝！

【編集後記】

今回、焼津市立総合病院 認知症疾患医療センターの酒井医師にお話を伺い、温かなお人柄に触れ、日頃の想いも知ることができました。とても有意義な時間でした。これからも皆さんの役に立てる情報をお伝えしていきます。

【発行元】 焼津市 各地域包括支援センター

(北部・中部・南部・大井川) 認知症地域支援推進員



焼津市立総合病院 認知症疾患医療センターのご案内

業務紹介

焼津市立総合病院の認知症疾患医療センターは、認知症に関する専門医、臨床心理士、精神保健福祉士等が配置されており、志太榛原地域における認知症疾患の保健医療水準の向上を図ることを目的に、以下の業務を行っています。

【専門医療相談】

医療相談室を設置し、精神保健福祉士等が電話や窓口で対応します。本人、家族、医療・介護・福祉関係者の方からの認知症に関する医療相談に応じます。

【身体合併症

・行動心理症状への対応】

認知症の方の身体合併症及び行動心理症状の治療について、地域の認知症にかかわる専門医療機関等と密接な連携を図り、地域全体で受け入れる体制を作っていきます。

【鑑別診断】

専門医が認知症の鑑別診断と治療方針の選定を行います。外来診察は毎週木曜日の午前中で完全予約制です。
(※かかりつけ医からの紹介状が必要です。)診断後は、かかりつけ医と連携を取り、日常の診療はかかりつけ医が担当します。

受診の流れ

①問診・診察等

②検査

心理検査・MRI・
脳血流シンチ等

③鑑別診断

④かかりつけ医への紹介



【地域連携の推進】

他の認知症疾患医療センター、地域包括支援センター等と認知症地域支援推進員定例会を開催し、認知症の方の支援のネットワークづくりを推進します。

【情報発信】

認知症に関する正しい知識をご理解いただくための情報発信を行っています。



【問合せ】

焼津市立総合病院 認知症疾患医療センター（地域医療連携室）
〒425-8505 静岡県焼津市道原1000番地
TEL: 054-623-3111 FAX: 054-623-9424

おむすび通心

第6号
2022年 秋

皆さん、こんにちは！
私たちは焼津市の認知症地域支援推進員です。

さて、九月は『世界アルツハイマー月間』でした。認知症を正しく理解し、認知症になっても安心して暮らせる社会づくりを目指して、日本全国で数多くの取り組みが行われました。

焼津市でも『認知症になっても安心して暮らせる街♡焼津市』をスローガンに、さまざまなイベントが開催されました。今回のおむすび通心では、その一部をご紹介します！

また、裏面では『静岡県若年性認知症相談窓口』相談員さんへのインタビュー記事を掲載していますのでこちらも楽しみに⑤



9月は『世界アルツハイマー月間』！ 焼津市での取り組みをご紹介します

「市民講演会を開催しました！」

九月十一日(日)焼津市役所にて『認知症市民講演会』を開催しました。

第一部は、『お口の健康と認知症予防について』と題し、川野歯科(市内道原)の川野大歯科医師による講演を行いました。□や歯と認知機能が予想以上に近い関係にあることが分かり、多くの参加者がお口の健康、歯の健康を保つことの大切さを感じていました。

第二部の『認知症とともに生きる本人からのお話』(DVD上映)、その後のミニ相談会ともの忘れチェックを含めとてもためになる有意義な講演となりました。大勢の市民の方にご参加いただき、本当にありがとうございました！



「焼津市キャラバン・メイトによる世界アルツハイマー月間の取り組み」



トクルことも館での読み聞かせを通じて認知症啓発の活動を行いました。

一人でも多くの市民の皆様が認知症の理解が広がりますように…⑤



焼津市で活躍中のYouTuber「ももちゃんず」が9/25の活動に密着してくれました！是非ご覧ください。



チャンネル登録も
よろしくお願いします!!

『静岡県若年性認知症相談窓口』を ご利用ください!!



吉村 礼子相談員に
お話を伺いました!

『若年性認知症とは?』

『若年性認知症』という言葉をご存じですか?六十五歳未満で発症する認知症のことを言います。

高齢者が認知症を発症した場合とは異なる経済上・日常生活上の問題が生じると言われており、少しでも疑問や不安があれば早めに専門家に相談することが重要と言えます。

でも、若年性認知症の相談ってどのようにしたら良いのでしょうか?そんな皆様の疑問に対して、今回『静岡県若年性認知症相談窓口』にお伺いし、若年性認知症支援コーディネーターの吉村礼子さんにインタビューを行いました。

Q. 相談内容の傾向は?

A. 若年性認知症の特徴として、社会や家庭で重要な役割を担っている働き盛りでの発症となるため、『仕事を辞めなきゃいけない』『住宅ローンがあるが、生活を続けていけるのか?』といった就労・経済的問題の相談が多いです。

実際、発症後に退職を余儀なくされる方が多いというデータもあり、『若年性認知症の人が仕事を続けていくこと』は大きな課題と言えます。

令和三年度からはリーフレットの作成や企業団体への啓発などを通じて、若年性認知症の方の就労継続のための体制強化を行っています。

他にも『利用できるサービスや制度の相談』『心身の相談』『対応方法』『医療関係の相談』などの相談をいただくことが多いです。

Q. 相談対応で心がけていることは?

A. まずは、相談者のお話をじっくり伺い、相談内容の整理を丁寧に行うことを心がけています。

また、相談者が本人以外の場合、その相談者の思いではなく、ご本人の思いを大切にしています。例えば、家族から『仕事に就かせたい』『デイに行かせたい』『手帳の申請をさせたい』という相談があったとき、それが本人の思いに沿っているのかを常に確認しながら対応しています。

もう一つは、常にアンテナを高くして若年性認知症の方にとって役に立つ情報の収集に努めることを心がけています。

Q. 最後に焼津市民へメッセージを...

A. 私たちの相談窓口は県下全域を七名のコーディネーターが対応しています。認知症の『疑い』でも相談は可能です。電話だけでなく、訪問や来所相談も受け付けていますので、ぜひお気軽にご相談ください!

【静岡県若年性認知症相談窓口】

TEL : 054-252-9881

FAX : 054-252-0016

E-mail : jakunensoudan@outlook.jp

相談日時: 週3日(月・水・金) 9時~16時

※祝日及び年末年始は除く

(受託者) 一般社団法人静岡県社会福祉士会

静岡市葵区駿府町 1-70

静岡県総合社会福祉会館シズウエル 4 階

【発行元】焼津市各地域包括支援センター

(北部・中部・南部・大井川) 認知症地域支援推進員

第6号編集/大井川

おむすび通心

第7号
2023年 冬

皆さん、こんにちは！

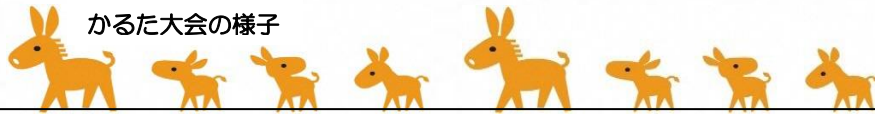
私たち、焼津市の認知症地域支援推進員です。

『認知症よくわかるた』が完成
かるた大会を開催!!

令和5年1月7日に、『認知症よくわかるた』の完成を記念し、かるた大会を開催しました。子どもから90歳の方まで幅広い年代の参加者のうち、着物を着てくれた方もおり、とても華やかな雰囲気の新春かるた大会になりました。参加された方々からは、「イラストがかわいい」「楽しかった」「絵札の裏に説明文があって簡単に認知症について知ることができた」「清流館高校の学生がとても優しく見守ることが大切」など温かい声を聴くことができました。



かるた大会の様子



かるた大会でのアンケート結果から印象に残った読み札を紹介します。



◎貸出について 各地域包括支援センター

(北部) 054-626-3219

(中部) 054-626-8811

(南部) 054-656-3322

(大井川) 054-664-2700

◎販売について 地域包括ケア推進課

054-626-1219

「チームオレンジ」
をご存知ですか？

「チームオレンジ」とは、認知症サポーター養成講座を受講した後、ステップアップ講座を受講してチームオレンジのチーム員となり、チームで認知症の方を支援し、一緒に活動します。

焼津市でも、認知症を正しく理解するための『認知症サポーター養成講座』を開催しています。講座内容は、認知症の種類や症状、その予防や治療、対応の仕方など60～90分程度の講座を受講します。

ステップアップ講座は、事例検討や地域資源、市の認知症施策等の話を聞きます。

今後どんな活動をしていきたいのか、何ができるのかなど、グループワークをしながら学びを深めていきます。



チームオレンジ清流館による認知症カフェ



現在、市内にはチームオレンジが7つあります。今回は昨年9月にチームオレンジを立ち上げた静岡県立清流館高等学校福祉科『チームオレンジ清流館』の活動を紹介をします。

昨年11月14日、市内のコーヒー店で『認知症カフェ』を開催しました。参加者は、認知症の方とその家族です。

運営は、『チームオレンジ清流館』の高校生6名で行いました。看板やレイアウト、お客様対応まで高校生が考えた認知症カフェで、ゆったりとしたひと時を過ごされました。生徒はこの日のために、手作りのおもてなしを用意してくださいました。参加者の方からも「楽しかったね」「コーヒー美味しかった」との声が聴けました。

帰り際、参加者をお見送りする中にそっと腰を支える優しい手が……。暖かい気持ちになり、これからの未来を感じました。

認知症本人ミーティング 『ちょっくら話そう会』



本人ミーティングの様子

昨年10月23日、デイサービスこんべえで『認知症本人ミーティング』が開催されました。本人ミーティングとは、認知症の御本人やもの忘れが気になる人が集い、自らの想いや、普段の生活での困りごと等を話す場です。

皆さんは、認知症と聞いてどんなイメージをしますか。今まで本人ミーティングで話していただいた言葉を紹介することで、認知症のイメージも変わると思います。

- ・近所の人が、いつも助けてくれるんだよね。
- ・まだ仕事をしているけど、お客さんと話ができるっていいね。
- ・デイサービスに行っているけど、やる事があるのは良い。おしほりをたんだら、人のためになるってうれしい。
- ・社交ダンスで背の高い男性と踊ってみたい。

- ・認知症と診断されて不安。今後どうなるのだろう。
- ・食べる事くらいは、最後まで自分でしたい。
- ・趣味を楽しみたい。旅行もしたい。
- ・ミシンを使って裁縫や縫い物をしたい。

認知症の方の言葉をどう感じましたか。認知症の方も、私達と同じようにやってみたい事や楽しみにしている事がたくさんあります。

認知症の方も、生活していくための想いがあります。

認知症だからできないのではなく、認知症になっても周りの支えがあれば、普段の生活を続けていける地域づくりを進めていきたいと思っています。



本人ミーティングの様子

【発行先】焼津市各地域包括支援センター

(北部・中部・南部・大井川) 認知症地域支援推進員

第7号編集／焼津市・北部

おむすび通心

第8号
2023年 春

皆さん、こんにちは！

私たちは、焼津市の**認知症地域支援推進員**です。

焼津市には、認知症疾患医療センターが2か所あることをご存じでしょうか？おむすび通心第5号では、その一つである地域型認知症疾患医療センターの焼津市立総合病院を取り上げました。

今回は、連携型認知症疾患医療センターやきつべの径診療所（中里）院長の夏苺直己医師にインタビューしてきました。

連携型認知症疾患医療センターは、地域の連携先医療機関

（多職種、多施設との協働）による「認知症診療」を個人でも、主治医からの紹介でも小回りが利く体制を目指して設置されています。

【連携先医療機関】

- ① 焼津市立総合病院
- ② 焼津病院
- ③ 藤枝駿府病院
- ④ 甲賀病院
- ⑤ 岡本石井病院

(医)峻凌会やきつべの径診療所

連携型認知症疾患医療センター



夏苺医師と安江看護師

【夏苺医師から

皆様へ伝えたいこと】

「あの人、認知症」という言い方をよく耳にしますが、認知症がその人の全てではありません。

「認知症を患っている人」という認識が必要です。

誤解や偏見をなくし、適切な対応が必要です。

ご本人の声に耳を傾けてください。

【夏苺医師が診療の中で感じること、

心掛けていること】

日々、学びです。全部が臨床、全部が学びです。

認知症の症状が酷いと、家族は施設入所を希望するケースがあります。認知症を患っていても、本人の意向を確認して尊重していきたいと思います。

独居であれば、様々な心配があると思いますが『まずは本人が、どこでどう暮らしたいのか』本人抜きでの決定にならないように、本人への意思決定支援は大きな課題と考えています。

なるべく地域に出て、地域の人との連携をしていきたいと考えています。

【編集後記】

今回、やきつべの径診療所夏苺医師からお話を伺いました。患者本人の想いに寄り添うことを第一とした先生の姿勢を知ることができ、私自身も大変、勉強になりました。これからも皆様のお役に立てる情報をお伝えしていきたいです。

【発行先】焼津市各地域包括支援センター

（北部・中部・南部・大井川）認知症地域支援推進員

第8号編集／焼津市・中部

認知症本人ミーティング 『ちょっくら話そう会』



本人ミーティングの様子

3月3日、ひな祭りのこの日。ぽかぽかとした陽気の中で、認知症本人ミーティングが開催されました。会場は、『中華料理店珉珉（みんみん）』です。

今回は3名の当事者とご家族が参加されました。ちよっと遅いランチをといった感じで「おいしいものが食べたい。何にしようかな」「餃子もおもしろそう」と、メニュー表とにらめっこしてました。自己紹介が終わる頃、熱々のラーメン、餃子ができあがり、自己紹介で聞いたことを色々と話しながら、楽しい時間をすごしました。お腹がいっぱいになると、マジシャンのマジギョさんが、みんなでできるマジックを教えてくださいました。マジックは指先を使いながら、話し考えるので、認知症予防にも効果があるそうです。

帰り際「またみんなで会いたいね」「また美味しいもの食べに行こうね」という言葉が聞かれました。



望月コーディネーター



じんむ市の様子

今年度は12月、2月、3月と『御菓子司角屋』さんのご厚意でじんむ市に参加しました。じんむ市では、認知症に関するチラシの配布や相談などを行っています。普段は相談に行くなんて、なかなかできないと思っている方も、じんむ市でちよっとぶらぶらしながら、お買い物して、ちよっと良い所に認知症ブースが・・・なんて、話しやすい感じがします。認知症のことに限らず、気になることなどお話してみてください。ブースにいるのは、介護、福祉、医療の専門職の方です。明るい雰囲気の中で話す事で、気持ち楽になるかもしれません。

2月は、子ども達と一緒に『認知症よくわかるた』を行いました。皆さんが気軽に立ち寄れる場所となるよう、これからも続けていきたいと思っています。

チームオレンジコーディネーターより
じんむ市に参加しています!!

連携型認知症疾患医療センターのご案内
峻凌会やきつべの径診療所

◎場所 やきつべの径診療所外来受付
焼津市中里162番地

◎院長 夏苅直己医師

◎要予約 電話予約が必要

紹介状のあることが望ましいですが、なくても構いません。

Tel 054(620)3103
Fax 054(620)3178

◎初診

月・火・木・金
午前10時30分から1名

時間に余裕を持って、お越し下さい。

◎方針

かかりつけ医・薬剤師・歯科医・地域包括支援センター・ケアマネジャー等多職種連携の中で、連携病院の支援を受けて活動していきます。

